

授業科目(ナンバリング)	キャリア開発 I (BA111)		担当教員	乙須 翼・中村 尚生			
展開方法	講・演	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
本授業は学生一人ひとりが、自分のこれからの人生を見据えた上で、大学生活 4 年間でこれからどう過ごせばよいのか、卒業後一人の社会人として自立するために何が 필요한のか、また自分は何を大切に生きていきたいのかなど、自分の人生に関する考え方を確立できるようになることを目標とする。そのため本授業では、学生に自分のキャリアについて考える機会を様々な形で提供し、学生が主体的に自分の人生を考え、歩んでいけるよう導きたい。							④⑥⑨⑩⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	社会人として求められる最低限の知識・技能を修得している。				課題の提出 小テスト	10% 10%	
情報収集、分析力	指定された方法で必要な情報を収集することができる。 収集した情報を指定された形式で整理することができる。 授業中に収集・作成・提示した資料を、これまでに学んだ知識や自身の自身の経験などと関連させながら分析することができる。				課題の提出	40%	
コミュニケーション力	講義資料や新聞記事など様々な形態の資料を的確に読み取り、読み取った内容をわかりやすく他者に説明することができる。 自身の考えを論理的な文章でわかりやすくまとめることができる。 他者の意見を傾聴、理解した上で、自身の考えを相手に的確に伝えたり、適切な質問をしたりすることができる。				課題の提出	30%	
協働・課題解決力	自分自身の経験を内省的また客観的に振り返り、自己の課題を認識した上でその課題の解決に向けた方策を考えることができる。				課題の提出	10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験は実施せず、毎回何らかの課題（アンケートや小テスト、レポートやワークシートなど）を提出してもらう。課題については課題の内容や提出状況などを基に評価する。小テストでは、社会人として必要な基礎知識と基礎学力を確認する。提出されたワークシートやアンケート、レポートおよび小テストについては、授業内の解説や成績の公開、コメント付与を行う形でフィードバックする。							
授業の概要							
授業は、学生のキャリア形成ならびに社会人として必要な基礎知識と基礎学力形成のため、自己分析を基にしたキャリアデザイン、SPI 等基礎学力講座、時事問題に関するプレゼンテーション、外部講師による講話等で構成される。アンケートや小テスト、レポートについては、ポートフォリオやレスポンスを通じて行う。なお、この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない 参考書：授業中に適宜紹介する 指定図書：川崎友嗣編著『大学生のためのキャリアデザイン 自分を知る・社会を知る・未来を考える』ミネルヴァ書房、2019 年 『朝日キーワード 2022』朝日新聞出版、2021 年							
授業外における学修及び学生に期待すること							
自分の人生は自分自身のものであり、最終的には自分自身で切り拓いて行く必要があるという事をよく認識してほしい。まずは大学での 4 年間で自分自身の人生のなかでどう位置付けるのか、その中で自分は何をどうしていくのかという事を真剣に考え日々の学生生活を送っていただきたい。その様に考えて行動する事が「自分磨き」につながり、この先社会人として自立して行く上で不可欠なものとなる。本授業は学生の参加によって成り立つ授業である。毎回の出席は勿論のこと、積極的な参加と真剣な取組を期待する。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション キャリアセンターと就職活動 について知ろう	授業の目的や内容についてシラバスを基に確認する。 キャリアセンターの利用と就職活動について理解する。 (乙須・中村・ゲストスピーカー (キャリアセンター課員))	予) シラバスの確認 復) キャリアセンターが行っている講座などを調べてみる
2	大学生生活の過ごし方と自分の 人生について考えてみよう	大学生生活の送り方と自分の今後の人生がどのように なっていくのかを考える。また簡単な自己分析を行 い、目標シートを作成する。(中村)	予) 大学生生活の目標を考えて みる 復) 目標シートの完成
3	自分史を書いてみよう	自分の将来を思い描くために、自分の今までの人生を、 日本社会の変化と共に振り返ってみる。またこれからの 自分の人生についても想像してみる。(乙須)	予) 2000年以降の日本社会 の変化を考えてみる 復) 自分史の見直し
4	自分に関するエッセイを書こう	自分史の作成を通じて見えてきた事などを参考に、自分 がどのような人間かを説明するエッセイを執筆する。 (乙須)	予) エッセイの構想 復) エッセイの完成
5	社会人に必要な力を知ろう (1)	社会人に必要なコミュニケーションを円滑にするため のマナーについて学ぶ (ゲストスピーカー (キャリア センター課員))	予) 社会人に必要なマナー とは何か考えておく 復) 授業で学んだ内容を復 習する
6	社会人に必要な力を知ろう (2)	社会ではどのような人材が求められているのかを企業 の人事に詳しい人の話を聞いて考える。(ゲストスピー カー (外部講師))	予) 「社会人基礎力」とい う言葉について調べる 復) 今どのような人材が求 められているかを自分な りに整理してみる
7	SPI (基礎能力検査) をやっ てみよう (1)	社会人として求められる知識のうち主に言語分野を学 ぶ。問題を解き、自分自身の基礎学力レベルを認識す る。(ゲストスピーカー (外部講師))	予) SPI (言語分野) とは 何かを調べてみる 復) 問題・解説の復習
8	SPI (基礎能力検査) をやっ てみよう (2)	社会人として求められる知識のうち主に非言語 (数的 処理) 分野を学ぶ。問題を解き、自分自身の基礎学力 レベルを認識する。(ゲストスピーカー (外部講師))	予) SPI (非言語分野) と は何かを調べてみる 復) テストの振り返り
9	働くことについて考えよう (1)	就職活動の進め方や、長崎県の就職状況について話を 聞き、自分の将来について考える。(ゲストスピーカー (外部講師))	予) 就職活動について自分 なりに調べてみる 復) 講話の内容の確認
10	社会の動きに敏感になろう (1)	「NAGASAKI しごとみらい博」に参加し、長崎県内の企 業の話を実際に聞いてみる。(乙須)	予) 「みらい博」参加準備 復) 興味を持った企業の HPを確認する
11	社会の動きに敏感になろう (2)	自分が興味・関心を持っているテーマについて、プレ ゼンテーション資料を作ってみる。(中村)	予) 興味・関心のあるテー マについて考えておく 復) 資料の見直し
12	働くことについて考えよう (2)	社会人として働く際に知っておくべきお金の話を聞 き、将来について考える。(ゲストスピーカー (キャリ アセンター課員))	予) 将来かかるお金につい て考えてみる 復) 社会人として知ってお くべきお金の話の復習
13	働くことについて考えよう (3)	社会人として働く際に知っておくべき労働に関する法律の 話を聞き、事例等を通して働くことについて考える。(ゲ ストスピーカー (外部講師))	予) 労働に関する法律を調 べる 復) 労働に関する法律の復 習
14	先輩から学ぼう	就職活動を経験した先輩から話を聞き、大学生生活の過 し方について改めて考えてみる。(ゲストスピーカー (4年 生)・中村)	予) 就職活動について想像 してみる 復) 大学生生活の過ごし方 を考えてみる
15	大学生生活1年間の振り返り レポートの作成	大学生生活1年目を振り返り、自分が立てた目標の達成状況 を確認する。更に次年度以降自分が身に付けていくべき 力とは何かを考え、「自分磨き」へのアクション・プランを作 成し、レポートに記入する。(乙須・中村)	予) 自分が作成した目標シ ートの内容を思い出す 復) 今後の大学生生活の過 し方をアクション・プラン としてまとめる